



PBR改善計画

株式会社 三陽商会

2023年10月6日



現状分析・課題・解決策

各種施策実行による株主資本コストを上回るROE目標の達成、IR活動の更なる強化、次期中期経営計画/成長戦略の策定・実行により、PBRの改善を図る

現状分析と課題

PBR 1倍割れが継続

2023年2月期実績（連結）
0.55倍

**ROEは株主資本コストを
下回る水準**

2023年2月期実績（連結）
6.1%
株主資本コストを下回る

解決策

理論

**PBR
の改善**

=

**ROE
の改善**

×

**PER
の向上**

具体的施策

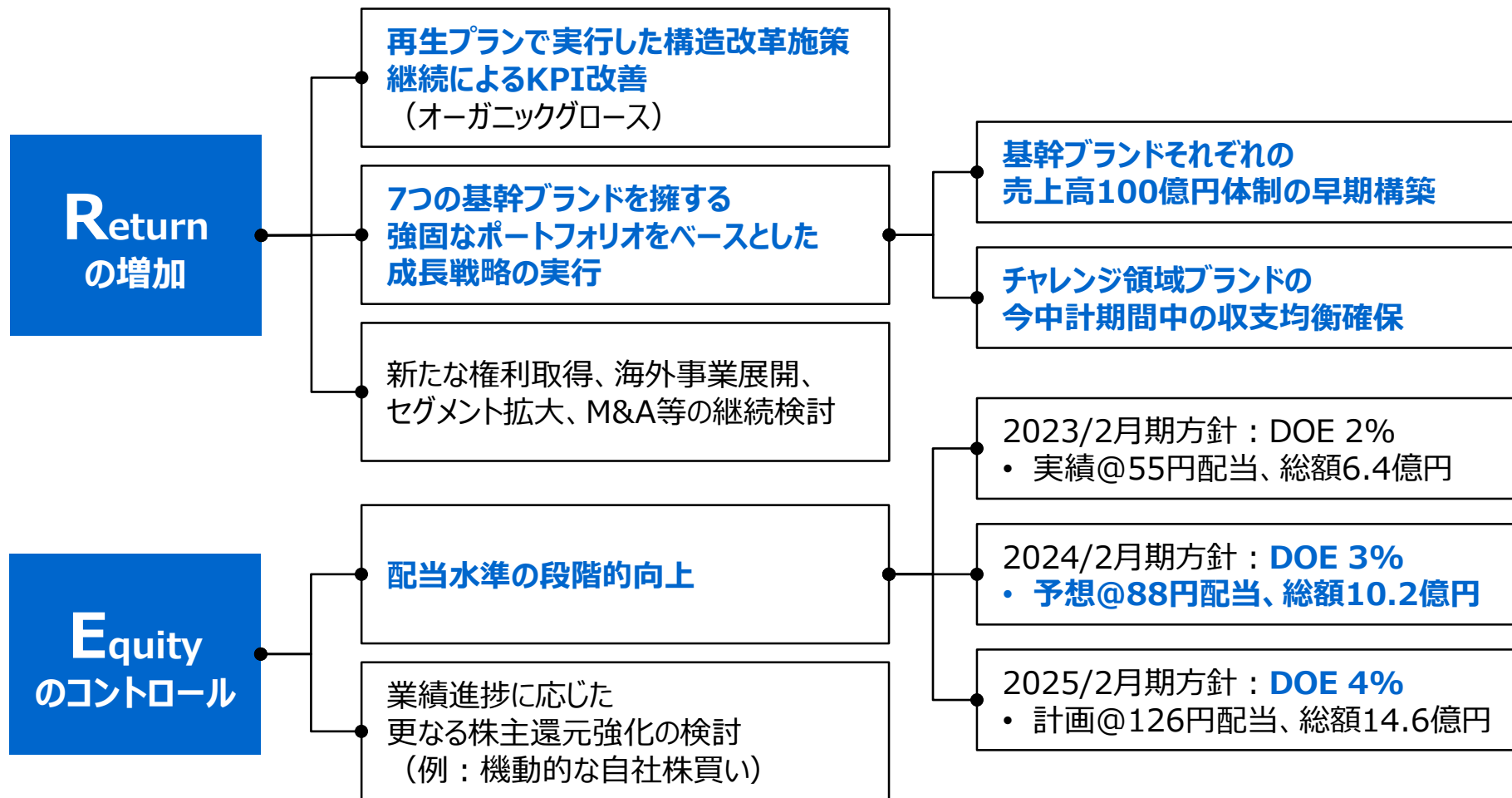
**株主資本コストを上回るROE目標
を達成する為の施策実行**

IR活動の更なる強化

**次期中期経営計画/成長戦略の
策定・実行**

ROEの改善

中期経営計画に則った各施策実行によるReturnの増加、配当水準の段階的向上等のEquityのコントロールにより、ROE 8.5%の達成を目指す



2025年2月期のKPI

ROEは株主資本コストを上回る8.5%、営業利益は中期経営計画に定めた43.8億円、営業利益率7%、DOEは4%方針をそれぞれKPIとして設定

2025/2月期
のKPI

ROE 8.5%

(株主資本コストを上回る水準)

営業利益 43.8億円

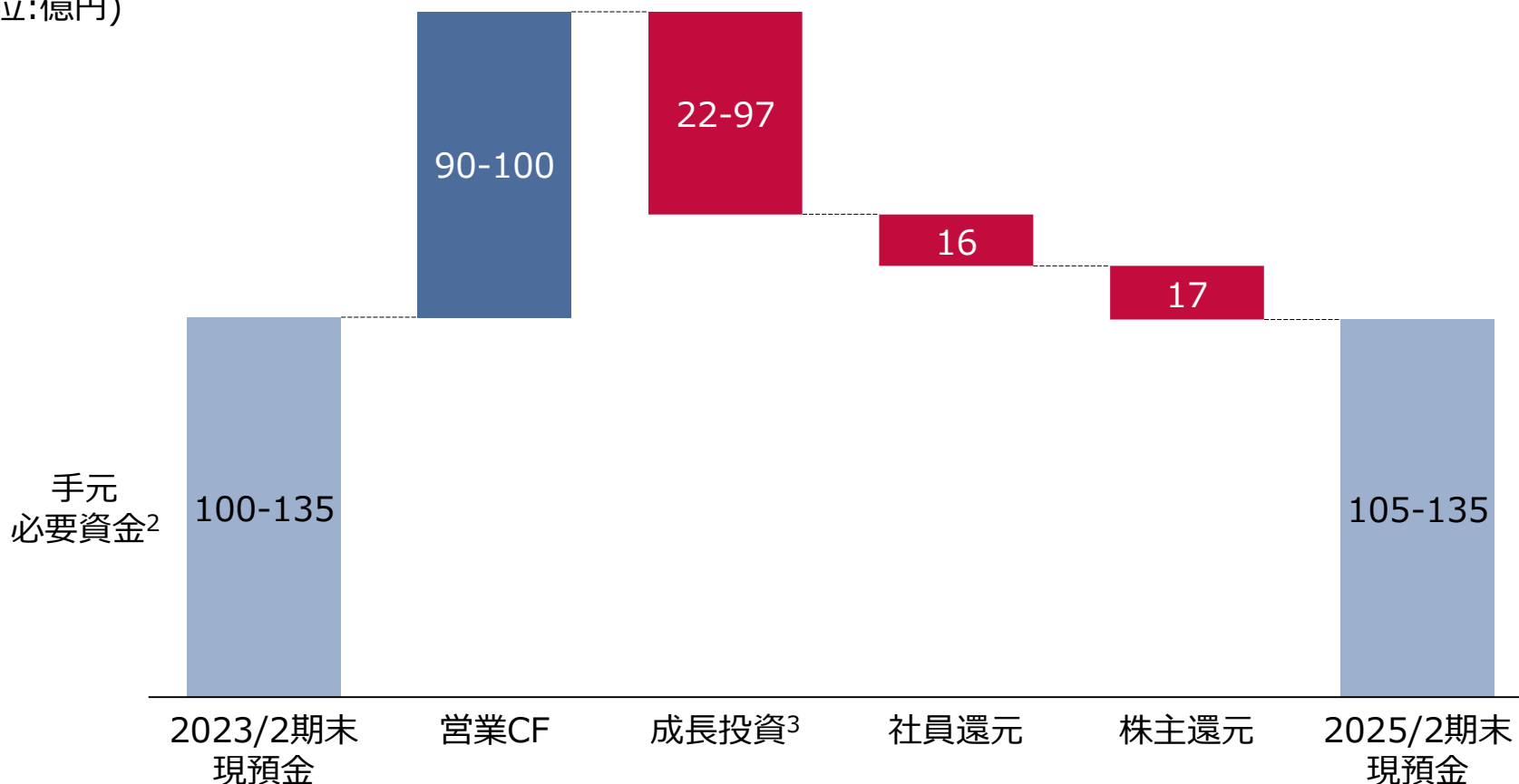
営業利益率 7%

DOE 4%

ネットキャッシュ・アロケーション

当社固有の事情として2022年2月期までの6期連続営業赤字からの業績回復を安定基調に乗せることを最優先。その上で、中期経営計画期間を通して、成長投資と魅力ある還元で資本効率を向上させ、適切なネットキャッシュ¹水準へ是正

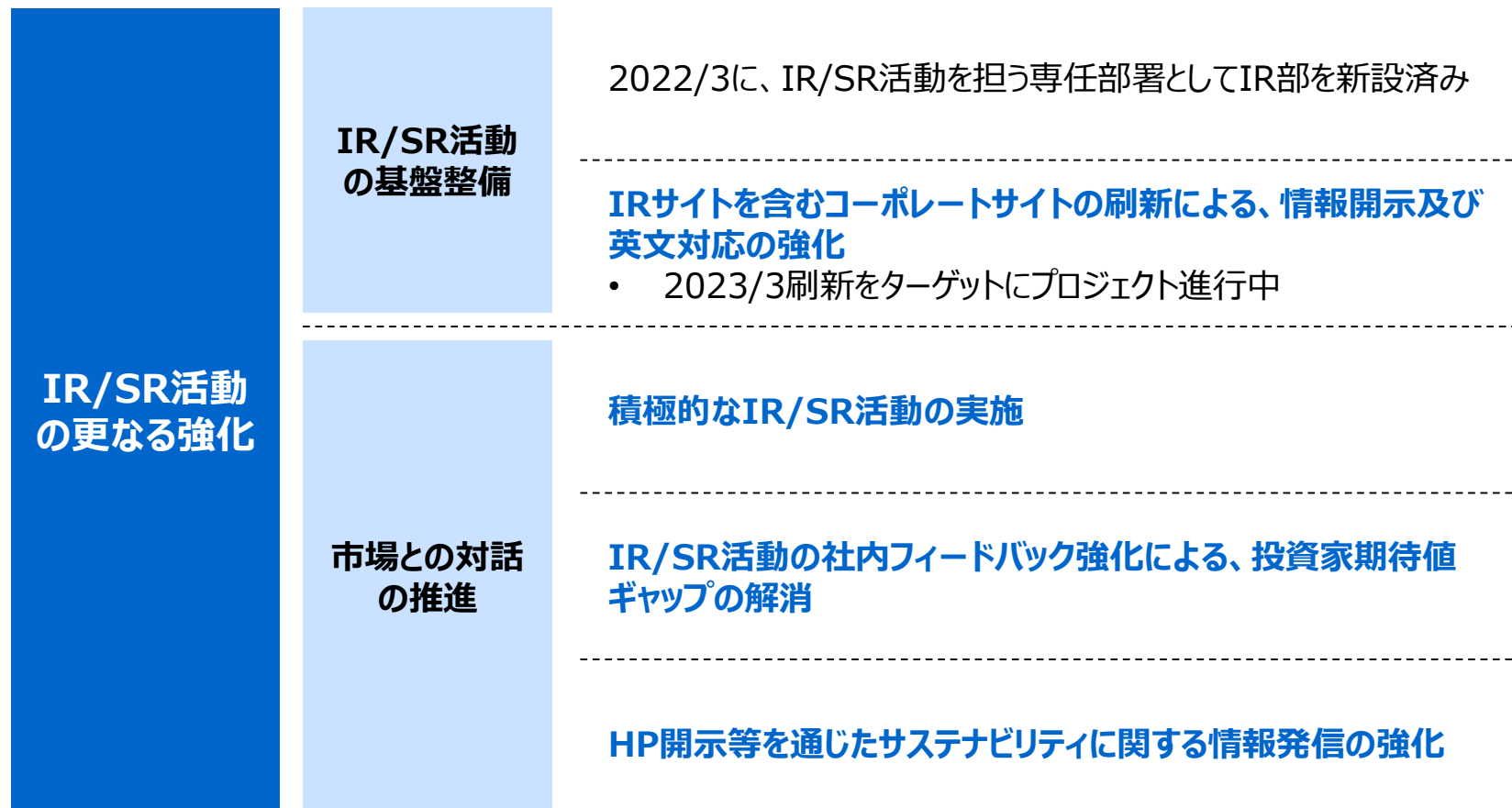
(単位:億円)



1. 長短借入金及びCBを除くネットキャッシュ 2. 事業/投資環境及び必要な手元流動性を鑑み適切に設定 3. 検討中の新たな権利取得、海外事業展開、セグメント拡大、M&A等を含む

その他のPBR改善策

事業成長に加え、IR/SR活動を更に強化することによりPBRの改善を促進



併行して、次期中期経営計画及び成長戦略を検討



80TH ANNIVERSARY SANYO

免責事項

本資料は、株式会社三陽商会及び関係会社の財務情報・経営情報等の提供を目的としており、如何なる表明・保証を行うものでも無く、投資勧誘を目的としたものではありません。実際に投資を行う場合は、本資料の掲載内容に依拠した判断はお控え頂き、ご自身の判断により行って戴けますようお願い致します。

本資料掲載の情報は過去の事実以外に当社の将来の見通しを含み、諸処の社会的事情や経済的事情により変動する可能性があります。本資料の情報を使用されたことにより生じる如何なる損害についても当社が責任を負うものではありません。

本資料に掲載された将来の見通しについて、新たな情報や将来の事象に起因し修正し公表する義務を負いません。

本資料においては、当社が証券取引所などに開示している情報を全ては含んでおらず、開示内容と異なる表現を採用している場合もあります。掲載内容を予告無しに削除又は変更する場合があります。

本資料の掲載内容には細心の注意を払っておりますが、掲載内容に誤りが生じた場合や第三者によるデータの改竄、データダウンロードなどによって生じる障害などについて、当社は理由を問わず一切の責任を負いません。